

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2006-50657(P2006-50657A)

【公開日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-007

【出願番号】特願2005-255678(P2005-255678)

【国際特許分類】

H 04 B 5/02 (2006.01)

【F I】

H 04 B 5/02

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月24日(2006.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

導体により構成される複数の信号層が平面上に形成され、隣り合う2つ以上の信号層に接続して当該2つ以上の信号層間ににおける信号の送受信を行う通信素子が複数設けられ、各通信素子は自身の識別番号を保持しており、

少なくとも1つの通信素子は、信号の送信元である通信素子の識別番号または送信先である通信素子の識別番号の少なくとも一方を含んだパケットを生成することを特徴とする通信装置。

【請求項2】

前記信号層は、交流信号を伝達可能な導体層として構成されることを特徴とする請求項1に記載の通信装置。

【請求項3】

誘電体により構成される第1の信号層および第2の信号層が複数形成され、第1の信号層と第2の信号層との間にはこれらよりも誘電率の大きい誘電層が配置されており、形成された隣り合う2つ以上の第1信号層および第2信号層に接続して当該2つ以上の第1信号層および第2信号層の間ににおける信号の送受信を行う通信素子が複数設けられ、各通信素子は自身の識別番号を保持しており、

少なくとも1つの通信素子は、信号の送信元である通信素子の識別番号または送信先である通信素子の識別番号の少なくとも一方を含んだパケットを生成することを特徴とする通信装置。

【請求項4】

通信素子は、自身が接続する信号層内に設けられた通信素子との間で信号を送受信することを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の通信装置。

【請求項5】

通信素子が、自身が接続する信号層内に設けられた通信素子から信号を受信し、自身が接続する他の信号層内に設けられた通信素子に信号を送信することにより、信号を所期の信号層まで順次伝達することを特徴とする請求項4に記載の通信装置。